

# Aprire

 秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

No. **54**  
2017

特集

海外資源  
ファミリード  
ワーク





# 特集

# 海外資源 フィールドワーク

秋田大学国際資源学部は、我が国の資源学ナショナルセンターとして  
資源学の最前線で活躍するグローバル人材を育成します。



## 「海外資源 フィールドワーク」とは

国際資源学部の必修科目として設定されている実習科目で、3年次の学部生全員が約4週間海外の資源フィールドに滞在し、資源学の最前線を実体験します。そこで見られる様々な事象や課題を直接学ぶことによって、資源学の解決すべき問題を明らかにし、4年次の卒業研究の課題とすることを目的としています。

平成28年度、国際資源学部においてカリキュラムの目玉とも言える「海外資源フィールドワーク」が、初めて実施されました。3年次の学生約120名が教員の設定するプログラムごとに少数の班に分かれ、世界へ飛び立ち実習を行うカリキュラムをご紹介します。

## 事前・事後学習 「国際資源 クリエイティブ演習」

海外における実習をより充実したものとするために、事前・事後の学習は不可欠です。海外資源フィールドワークをより充実したものとするため、演習科目として「国際資源クリエイティブ演習」を設定しています。

この内容は、大きく事前学習・事後学習に分けられます。

- 事前学習
  - ・フィールドワークエリアの選択
  - ・訪問先への依頼・連絡
  - ・教員によるオリエンテーション
  - ・学生各自による事前調査など

- 事後学習
  - ・英語による報告書作成
  - ・報告会の実施

この他にも、海外におけるセキユリティ支援サービスを

提供する会社から講師を迎え、秋田大学で導入した危機管理サービスの説明をはじめ、外国での注意事項や心構えなどのエピソードを交えて講話を行っていただきました。

## 実習先について

世界の資源学最前線を学ぶべく、各教員が企業や機関を選定しています。さらに、学部設置時に各教員は実際に現地に赴いて宿舎、交通手段などの安全性について調査を行い、信頼に足る実習受け入れ先を整えています。

実習地域には、アジア、北米・南米、中東、アフリカ、オセアニアやヨーロッパなどがあり、現地に事業所のある日系企業も含まれています。基本的には現地の鉱山企業や石油関連企業、リサイクル関連企業、商社・国際協力機関、大学が実習先となります。

資源に関連する現場に立ち、現地の職員と議論をしつつ、資源国の課題や資源最前線の多くの課題について学びます。



平成28年度I-EAP講義風景(アラン准教授)



クリエイティブ演習講義室風景

## 「英語力の強化・資源に関する基礎知識の涵養」

国際資源学部では、1年次から2年次にかけて、必修の基礎教育科目に位置づけられる集中大学英語「I-EAP(Intensive-English for Academic Purposes)」は、英語の語彙の増加・聞き取り能力の強化・アカデミックライティングの基礎力向上・アカデミックプレゼンテーション能力に至るまで、丁寧に段階を踏みつつ徹底的に能力を養っていきます。

この「I-EAP」を踏まえ、学部の専門科目は全て英語で行われますので、必然的に海外でも現場で使用されているであろう専門用語等にも慣れていくこととなります。

この他にも、「ディスカッション演習」や「ディベート演習」など、自分の考えを表現できるスキル・プレゼンテーションや批判的思考のスキルを身に付け、説得力のある論点を立てることができるような講義も配置しています。

同時並行で、1年次の全学生が以後の専門科目などの基礎に位置づけられる科目の「資源学実習」を履修します。実習形式で秋田県内各

地の地質巡検や、製錬所・リサイクル施設の見学など、そこで重要視されていること、作業の流れ、環境保全などについて学び、早い段階から講義だけに留まらずに実地を学び、全学生が資源学に関する基礎知識を身に付けていきます。

## 最後に

このようなカリキュラムにより、実際に海外へ渡航する3年次までに下地をしつかりと固め、「海外資源フィールドワーク」が4年次の卒業研究の課題を見つめるのみならず、学生の今後の進路への道しるべとなることを期待しています。



オリエンテーション風景

## 実習国一覧



フィリピン



イギリス



韓国



チリ



モンゴル



スウェーデン



南アフリカ共和国



セルビア



ウクライナ

海外資源フィールドワーク体験談



ベオグラード大学ボール校の学生らと(後列右から5番目が石黒さん)

セルビア共和国ボール鉱山地域での研修  
国際資源学部 資源開発環境コース 3年次  
石黒 卓哉



水質調査の様子

私は海外資源フィールドワークとして、セルビア共和国のボール市を流れる鉱山廃水と周辺河川の水質調査を行いました。

現場ではベオグラード大学ボール校の学生たちと協力しながら、サンプルを採水し、水温、pH、銅や鉄などの濃度を測定しました。この実習の主な目的は、実際の鉱山開発システムを学ぶこと、水質調査を通して環境データの取得・解析法および鉱山廃水が環境に与える影響を知ること、そしてセルビアの学生たちとコミュニケーションを図り、語学や今後必要となる交渉力を養うことです。

調査する場所は、森の奥深くや足場の悪い所も多く毎日へとへとでしたが、河川の色が場所によって全く異なることには驚きました。調査完了後は測定結果を整理し、ボール鉱山冶金研究所にて英語で調査報告発表を行いました。調査結果を報告書にまとめることで、相手に伝えるための適切な表現方法やデータ処理のスキルを身に付けることができました。その他にもJICAのバルカン事務所やセルビア最大の鉱山会社であるRTBボールなどを訪問しました。特にRTBボールが所有する露天掘り鉱山、選鉱場、精錬所の見学では、全てにおいてスケールが大きく、圧倒されました。また、休日には研究所の方々に観光スポットの案内や、バーベキューでの歓迎会をしていただきました。

この実習で、日本ではできない経験や考えられない状況を見ることができ、改めて貴重な機会だったと実感しています。最後になりましたが、無事実習を終えることができ、受け入れていただいた関係者の皆さまには心より感謝しています。



選鉱場での見学の様子



ヒューストン事務所の社員の方々と

石油の街 ヒューストンでの研修  
国際資源学部 資源政策コース 3年次  
小林 豪

私は平成28年10月に国際資源学部の最も大きな特長である海外資源フィールドワークへ行きました。今回の研修は、アメリカのヒューストンにある石油資源開発(株)の子会社で石油開発に関連する業務を体験するといった内容でした。

ヒューストンは1900年代初頭から石油産業が盛んな街であり、世界最大の医療研究機関の集積地テキサス医療センターやNASAのジョンソン宇宙センターが設置されているハイテク産業が有名な場所でもあります。気候、文化、人、平原の続く広大な大地、すべてが新しい環境の中で研修できたことは私の宝物です。



ホームステイ先での食事会

フィールドワークの内容は、北米シェールオイル開発事業における石油会計、石油開発や石油税制に関する国際会議等への参加でした。実際の業務に加え、セミナーでたくさんの地元企業の方や地質、石油工学を専攻する学生の生の声を聞いたことは、今回ヒューストンへ行ったからこそ出来た体験だと思います。

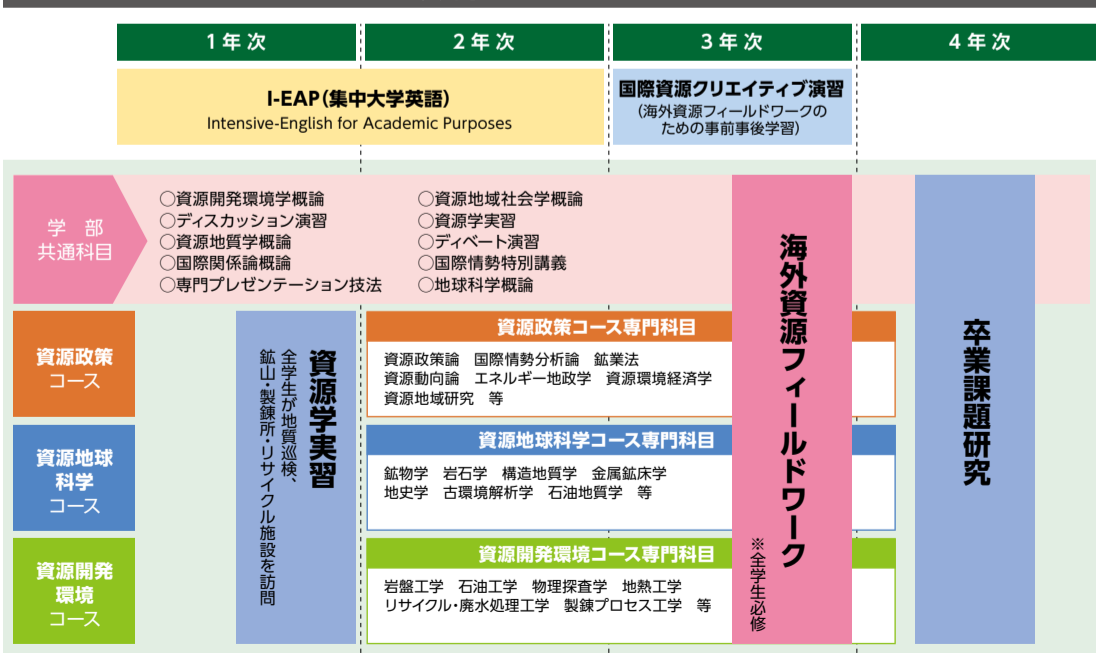
また、今回のフィールドワークでは同事務所の所長宅や現地の方の家にホームステイをし、アメリカの文化を肌で感じることができました。休日にはゴルフやテニス、アメリカンフットボールの観戦や観光など、研修以外にも充実した日々を過ごすことができました。

約3週間という短い期間でしたが、恐れず挑戦することの大切さと、海外で働くことの良いイメージをつかむことが出来た内容の濃い研修でした。この貴重な機会を与えてくれた企業の方々、先生方に感謝し、これからも様々なことに興味を持って挑戦し続けたいと思います。



現地の伝統的なお祭りルネサンスフェスティバルにて

国際資源学部 4年間のカリキュラム



平成28年度海外資源フィールドワーク





特別対談

# 地方創生・産学連携の視点から 国立大学に期待すること

秋田大学  
山本 文雄 学長

日産自動車  
志賀 俊之 取締役副会長

「地方創生・産学連携の視点から国立大学に期待すること」をテーマに、日産自動車の志賀俊之取締役副会長と山本文雄学長が対談を行いました。産業界でのキャリア、中央教育審議会委員としての視点。産業界を代表するリーダーから、多様な切り口のメッセージをいただきました。

**産学官が一体となり、秋田県の特徴を生かした産学育成をするのが「地方創生」の鍵**

**山本** 産業界の視点において、また、中央教育審議会委員のお立場から、大学の役割等についてご提言等をいただければと考えております。よろしくお願いたします。

**秋田県は、少子高齢化の先進地となっております。若者が担い手となって地域産業を引き継ぎ、伸ばしていくことが不可欠であり、今後ますます「地方創生」の重要性が高まっています。地域の課題を解決していくことが大学の使命であるとも考えています。志賀さんが考える「地方創生」についてお聞かせください。**

**志賀** 私は和歌山県出身で地方から東京に出てきた人間で、学生の頃は、いかにして田舎から飛び出すかというところが、今、地方大学の学生たちと話をしていると、できれば地元で就職したいという話をよく聞きます。そう考えると、地方創生は単に地方の問題だけではなくて、いかに日本全体でバランス良く、地元への就職先、新しい仕事を作っていくかというような重大な時期に直面しているのかなと思います。

幸い産業界では今、時間や場所などに拘束されない働き方、という柔軟な形へ徐々に変わりはつづいてあります。インターネットなどの普及により、東京でなければ仕事ができないという時代ではなく、なってきたりしています。これまでは、地方で産業を創出するとなれば企業や工場を誘致しなければならぬという思考になりがちでしたが、これからはいかに東京をはじめ首都圏に集中していった仕事を地方に分散していくことになつていくと思います。徳島県や鳥根県など成功している地域もあります。

日本全体の中で秋田県の特徴を生かし、各都道府県が分担して産業を創生できれば非常にバランスが良いと思います。産学・大学・行政が産学官連携した上でさらに、秋田県ではどの分野の産業を育て、どのように分担していくかを一緒に分担して取り組むことだと思います。

**山本** 例えば自動車を一台作るには様々な部品が必要となりますが、それらの部品を作る場所を、地方に分散できれば地方創生につながるということでしょうか。

**志賀** 自動車部品のようなハードウェアで考えると、従来の企業や工場の誘致など発想になつてしまっています。自動車を例に挙げれば、現在の自動車の構成はハーブウェアが9割、ソフトウェアが1割となりますが、将来

的には電気自動車や自動運転の技術開発などが考えられます。そうすると割合が逆転しハードウェアが4割、ソフトウェアが6割になると言われています。そのような時代になると、ソフトウェアの開発を東京でやる必要はありません。日産自動車はフランスの自動車会社ルノーと提携していますから、インターネットで日本とフランスをつなげて仕事をしているように、世界のどこからでも仕事ができるわけです。

これは私の考えですが、首都圏で生活するよりも自然な環境が豊かな地方で生活した方がゆとりも生まれ、生活そのものの質も上がるのではないかと思います。

これからは、ソフトウェア開発ができる人材、あるいは人工知能の開発のできる人材などが必要になってくると思います。ですが、どのような人材を育成していくのかを産学官があげて取り組んでいくことが必要だと思います。

### 学生時代に「基礎」「専門」のどちらかを徹底的に鍛えていくことが大事

**山本** 10〜20年後には、今想像していない職業が増えてくることを考慮されるため、そのことを考慮しながら学生教育にあたるよう文部科学省も求めています。将来どんな仕事があるのか想像がつか

ない中で学生たちを教育するというのは非常に抽象的で分らない面があります。このことについて、ご提言をお願いできますでしょうか。

**志賀** 私は二つあると思っております。いわゆる人工知能によつて現在の仕事の約半分は10〜20年後にはそれらに代替することが可能と言われている、ほとんどの仕事が人工知能やロボットで対応できる可能性があります。一方で学校の先生や医師など、人との関わりの中で答えを出していかなければならない仕事はなくならないと言われています。専門性を身に付けていく、ある程度職業的な技能とプロフェッショナルなところをしっかりと学んでおくことが生き残る一つだと思います。

二つ目は、教養をしっかりと積むことだと思います。教養を身に付け基礎がしっかりとあれば、たとえ専門分野でなくともどんな分野においても応用がききます。

専門性もなければ教養もないまま学生生活を過ごすことは非常に危ないことだと思います。

秋田大学には国際資源学部という資源系のスペシャリストを育成する学部があります。専門性を徹底的に鍛え、技術者として世に送り出すことも非常に大事なことだと思います。

日産自動車でも活躍してきた名だたる研究者は、実は大衆時代の研究テーマとは違うことをしている人が多いです。おそらく専門外でも、どこをねらいとして研究しているかという点をつかんでいたからだと思います。研究者魂というものが大学時代に培われているのです。

企業が求めるのは「多様性があり情熱を持って自分の考えを表現できる人材」

**山本** 志賀さんのお話を伺い、専門性を身につけること、もしくは基礎的なことをしっかりとやるのが大切だということがよく分かりました。仮に秋田大学でそのような教育を受け、日産自動車のような大手企業に就職したいという学生がいた時、採用する時にはどのようなところに注目されますか。

**志賀** 新入社員であれば、意欲、情熱、向上心などがどのくらいあるかということに着目します。日産自動車の場合、外国人留学生を2割弱採用しています。「私はこの会社に入つてビッグになるぞ」という彼らの向上心やハングリイ精神のような野心は日本人学生とは全く違います。日本人学生は総じて大人しく、特に野心を持って入社してくるという人は少ないです。

グローバルマネージメントとして、日本人のみならずアメリカ人、中国人、インド人など国籍に関係なく優秀な人材を採用し、その優秀な人材が能力を発揮し、よりチャレンジできる環境を整えています。日本人だからといって特別扱いはしません。そのことは採用選考のときにもしっかりと説明し、「日本人学生のあなたたちが優秀な外国人留学生たちと互角に競い合つていく覚悟はありますか」ということも伝えていきます。これは英語力だけの問題ではありません。とにかく自分の考え、やりたいことを下手な英語でも良いので、情熱を持ってしっかりと表現できるかが重要なのです。



志賀 俊之 (Toshiyuki Shiga)

1953年和歌山県生まれ。1976年大阪府立大学経済学部卒業。1976年日産自動車株式会社に入社。1991年同社アジア大洋州事業本部アジア大洋州営業部ジャカルタ事務所長、1999年同社企画室長・アライアンス推進室長を経て、2005年同社代表取締役 最高執行責任者に就任。現在、同社取締役副会長、株式会社産業革新機構代表取締役会長(CEO)及び第8期中央教育審議会委員を務める。



山本 文雄 (Fumio Yamamoto)

1948年福岡県生まれ。1975年鳥取大学医学部卒業。専門は心臓血管外科。1981年鳥取大学医学部附属病院助手、1991年国立循環器病センター第三循環器外科医長。1998年秋田大学医学部教授、2014年同大理事(研究・国際・産学連携・情報担当)・副学長を経て、2016年に就任。



**明確な目的を持ち、それを実現するための行動を**

**山本** 文部科学省のホームページに「高校生の心と体の健康に関する調査(2011年3月)出典・財団法人二ツ橋文芸教育振興協会、財団法人日本青少年研究所」の集計結果があるのですが、日本をはじめアメリカ、韓国、中国の高校生に「自分は優秀と思うか」という質問をしたところ、アメリカでは6割近く、高校生が「自分は優秀だ」と回答したそうです。一方、日本人で同様の回答をしたのは2割弱で、非常に大きな違いがあります。私も日頃から学生たちを見ていると、そのように感じる部分もあります。また、秋田県の学生たちの傾向と言えるかもしれませんが、公務員になりたいという、俗に言う安定志向型の学生が多いようにも思えます。理系でもそのような傾向があります。

向が見受けられます。そして、地元で就職するのであれば安定した公務員という道になるのだからと思えますが、私が委員を務めている文部科学省の中央教育審議会でもよくお話ししていることがあります。従来日本の教育は一生懸命正解を覚え、試験で良い点数を取り、偏差値の高い学校に行き、できる限り安定した良い仕事をするために大きな会社に入りたいたいという流れがあったと思いますが、現在は初等教育から自分自身で考えて判断し、それを表現するという思考判断表現に学習指導も変わりつつあります。アクティブラーニングを行い、つまり正解を覚えることではなく自分で何かをやってみていくという教育。そうすることがわき、何かをやりたいという思いが必ず出てきます。アクティブラーニングで面白い実験などを体験すれば、研究者になりたいたいか、こんなことができる会社に勤めたい、などの考えも出てくると思います。

**志賀** 私は初等教育の時から、将来何をやりたいのかという考えを持ってもらいたいと思っています。「私は将来これをやるために秋田大学のこの学部を選びました」と学生から言われた方が先生方も教えがいがあると思います。大学へ入学し卒業する間際まで、何をやりたいのかが決まっていないうのは不思議な気がします。

**就職がゴールではなく、その道のプロへ**

**山本** 私たちの若い頃は、何をやりたくてというよりは学んでいるうちに自分はこちらの方が向いているのではないかと、または親から「これをやりなさい」と言われたら、もうそちらの方に進まなければならぬというところがありました。そういう意味では、今の若者は私たちの世代よりも自分が何に向いているのかを考え、自分の能力をある程度自身で評価して色々と行動しているようにも感じます。

**志賀** 現状の日本は「就職」ではなく「就社」だと思えます。職には専門性が必要となります。自分は何をやりたいか、何になりたいたいか、その職のプロフェッショナルにならなければならない。日本の場合、この発想がすごく弱いんですね。現在盛んに高大接続と言われ、大学側はアドミッシェンポリシーやカリキュラムポリシーなどをしっかりと示していますが、私が高大接続で一番大事と思うのは、高校生が大学を選ぶ時にアドミッシェンポリシーなどに合うような選び方ではなく、高校生の時から自分は将来何になりたいたいか、こういうカリキュラムポリシーを持つていて大学に行きたいということだと思えます。私はさらに「大学・社会接続」と言っております。大学での人材育成が、社会におけるプロフェッショナル志向に繋がるものだと思っております。

**大学が率先し社会課題の解決を、目利きを鍛えそして時代のニーズにあった研究の実施へ**

**山本** 最後に、大学はどのような視点で教育研究を行っているべきかを伺えればと思います。

**志賀** 日本に限らず海外も視野に入れ、大学が率先して社会課題を解決していくことが必要であると思えます。自分の好きな研究しか行わない、研究のための研究ということではなく、社会課題を解決する研究を行っていくことで、その結果として解決につながり、さらにはビジネスにも結びついてくると思えます。そして産学連携の強化で

**山本** 学生には、新たな世界に挑戦する気概を持ち、世の中に貢献できる人材となつてほしいと思います。また私どもも、地域にふさわしい「地(知)の拠点」としての大学形成に邁進していきたいと思っております。

大変有益なメッセージやご提言をいただきありがとうございます。

# 教員紹介 国際資源学部

## 資源の安定供給に向けて、海外での資源開発を考える



資源政策コース  
【専門】プロジェクト契約論、交渉学、石油ガス・鉱業法

小山 健一  
特任准教授

皆さんは、私たちが毎日使っている電気やガス、利用している自転車やバス、電車の車体、着ている化学繊維の服、そして買い物に使う硬貨などがどこからどのようにやって来ているのか考えたり勉強したりしたことが、きっとあるでしょう。これらのもととなる石油・ガス・石炭・鉄鉱

石・銅等の資源は、以前は100%国産で、一部ものは輸出までしていましたが、現在ではほぼ100%海外からの輸入に依存しているのが日本の実情です。したがって、私たちの毎日の生活には、産出国からの資源の安定供給が欠かせません。日本の企業は単

に輸入するだけでなく、海外での資源開発に自ら積極的に参加し生産される資源の確保にも努めています。石油ガスあるいは鉱物資源の生産には、これら資源を探し、発見し、開発していくための科学技術が必要とされるのは勿論ですが、それと同時に資源産出国の法律に基づいて政府と結ぶ開発契約や、単独で行うには巨額すぎる開発を世界の大手石油・資源会社と組んで進めていくための合弁契約、更には地元社会の制度・文化・宗教等を理解し地域と調和を保ち環境保全に配慮しながら開発を進めていくことなども必要です。

私は平成26年まで、南米ベネズエラやロシア国サハリン島での10年近い駐在も含め、総合商社に在籍して海外での石油・ガス開発事業に長く携わってきました。シェルやエクソン、あるいは地元政府や国営石油会社の人々と一緒に働くことは、言葉や文化、ビジネス習慣の違いから最初はとても苦労が多いものですが、それを乗り越えて今まで生きてきたのと異なる世界を知ることは、自らの血となり肉となり自分を大きく成長させてくれました。

秋田大学に赴任し、これらの経験も生かしながら資源動向や法規契約等の研究を進め、授業を行っています。皆さんも資源政策コースで幅広いテーマについて学習し、将来は日本への資源の安定供給に貢献しぜひ世界で活躍してみませんか。

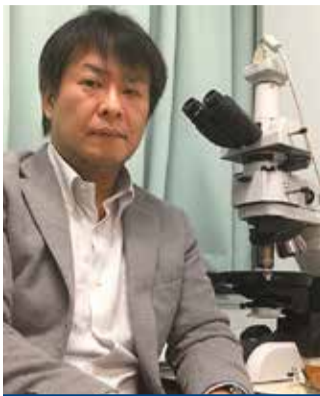


アバダ石油他での研修



アンゴラ沖合プラットフォームでオペレーターと

## 岩石の模様から海洋地殻の形成過程を探る



資源地球科学コース  
【専門】岩石学

星出 隆志  
助教

日本列島は島弧―海溝系と呼ばれ、列島下への海洋プレートの沈み込みが地震の発生や火山の形成の要因となっています。東北日本に沈み込む海洋プレートである太平洋プレートは、日本の北東、北米から南極にかけての海底に連なる東太平洋中央海嶺という海底山脈で

1億数千年前に誕生しました。私は、海洋プレートを形成する地殻の形成過程を明らかにするために、アメリカの科学掘削船、ジョイデス・レゾルーション号による2012年の東太平洋中央海嶺近傍での海底掘削で採取された「斑れい岩」という岩石を研究しています。

海洋プレートは、厚さ数キロメートルの玄武岩質地殻とその下の最上部マントル(かんらん岩質)からなっています。中央海嶺の下では、マントルで発生した玄武岩質マグマが冷え固まることで今現在も新たな地殻ができています。しかし、海底下6キロメートル以深にあるマントルで発生したマグマが海底に至るまでの間のどの場所でもどのようにして冷却され、地殻を形成するのかという点については、未だ定説がないのです。そうした中、2012年の掘削で海洋地殻の最深部からまだら模様や縞模様などの奇妙な構造をもつ「斑れい岩」が

発見され、乗船していた研究者たちを大いに驚かせました。私はこれらの「模様」ができた原因を考察することがこの謎を解き明かす鍵となるのではないかと考え、斑れい岩の微細構造観察や化学分析に基づく岩石学的研究に取り組んでいます。



2016年8月モンゴル調査 ホロゴ火山火口にて



海外資源フィールドワーク(インドネシア)

## 「製錬」という分野をご存じですか？



資源開発環境コース  
【専門】金属製錬工学

高崎 康志  
准教授



試金法実習風景

私の専門分野は「製錬」工学です。「製錬」とは鉱石を原料として高純度の金属素材を製造することであり、各種金属の製造やリサイクルに関連した研究を行う分野です。同じ発音の「精錬」スクラップなど粗金属から金属素材を精製)も同じ研究分野に含まれます。また、金属加工なども含めた「冶金(やきん)」という分野の一部でもあります。秋田大学の歴史は鉱山専門学校の採鉱・冶金学科から始まっており、歴史ある分野でもあります。さて、普段我々が使用する金属の原料となる鉱石は、一部の金鉱石以外、全て海外から輸入されています。そのため、資源の乏しい我が国では様々な金属のリサイクルが行われています。私が所属している製錬工学研究室(井上亮教授)では基礎的な研究を行うだけでなく、金属リサイクルの要ともなっている製錬所との共同研究や環境関連分野も含めて金属に関連した研究に広く取り組んでいます。

話は変わりますが、国際資源学部では3年次に海外資源フィールドワークがあるので一例を少し報告したいと思います。私が担当したのはモンタナ大学モンタナテック(アメリカ、以下モンタナテック)での研修です。モンタナテックはその生い立ちが秋田大学と非常に似ていて(鉱山会社からの多額の寄附により設立された鉱山専門学校が前身)、故マンスフィールド元駐日アメリカ合衆国大使(過去モンタナテックに在籍)が鉱業博物館を訪問されてからより親密な協力関係が続いています。モンタナテックコースに参加した学生は、鉱山、製錬所見学を含む試金法ショートコースや大学の講義、地下坑道実習などに参加し、最終日には副学長も参加し報告会を行いました。参加した学生は歴史ある町ビュートで貴重な体験を積んで出発前に比べて凍々しくなっていて帰国しました。



モンタナテック裏手の広大な荒野



モンタナテック入口

# 僕らの課外活動

数ある課外活動団体の中で今回は、歴史ある「海外鉱業研究会」とリーグ昇格を目指し健闘した「男子バスケットボール部」をご紹介します。

## 海外鉱業研究会

海外鉱業研究会会長 国際資源学部3年次 今井 清弘

### 鉱業について学ぶ文化系サークル 地質、鉱業、石油などについて学ぶ

海外鉱業研究会とは鉱業について学んでいるサークルです。主に鉱山開発、地質、石油・天然ガス、金属・非金属などの分野ごとにグループを作って活動しています。普段の活動は毎週金曜日に部会を行っており、各自の研究報告や今後の方針などを話し合っています。部会以外にも鉱山見学や地質巡検、機関紙の発行、高校生への鉱業についての討論、大学祭での鉱石販売、貴重鉱物の展示会など、鉱業に関連する様々な活動を行っています。また、毎年OB・OGとの交流を行って、実際に鉱山業に携わる多くの先輩方に資源開発の最前線の話聞くことができます。

- 所属人数:32人 (男子29人、女子3人)
- 活動日時:毎週金曜日と土、日曜日 (土、日は不定期)
- 活動場所:中央図書館学習室 (ミーティング)



地質調査をする会員

### 昭和35年に設立 現在までに25カ国以上の国で実習を実施

海外鉱業研究会は「海外の無尽蔵に資源を有しながら資金と技術不足により未だその資源開発が遅れている国々に渡り、日本と相手国の鉱業

の発展に貢献しよう」という趣旨のもとに昭和35年に創立されました。その精神は現在まで引き継がれ、創立から現在までの約50年間で多くの会員が世界中の鉱山で実習を行ってきました。

### 阿仁鉱山交流会への参加と インフォメーションセンターでの 展示会の開催

平成28年7月23日に秋田県北秋田市阿仁地区で行われた北秋田市教育委員会主催の「阿仁鉱山交流会」に参加しました。「阿仁鉱山交流会」は鉱山で栄えた地域である北秋田市阿仁地区と愛媛県新居浜市の交流を深める目的で開催されました。海外鉱業研究会の会員らと愛媛県新居浜市の新居浜南高校ユネスコ部の生徒らが参加し、それぞれの地域の鉱業を紹介する発表を行いました。



北秋田市教育委員会主催  
阿仁鉱山交流会の様子

また、同年11月4日から12月2日までの約1ヶ月間、秋田大学インフォメーションセンターで「北東北・北海道の鉱石と海外鉱業研究会の紹介」という展示会を行い、11月21日には会員によるギャラリートークを行いました。ギャラリートークや展示会には地域の方々や本会OB・OGの方々にご来場いただきました。来場された地域の方に「秋田という地は鉱業とともに発展してきた。このような展示はそれを知ることができる。もっとやってほしい」などという感想を頂きました。



## 男子バスケットボール部

### 2部北奥羽トーナメントを制覇

秋田大学男子バスケットボール部(監督:理工学研究科・徳重英信教授)は、部員28名(マネージャーを含む)で活動しており、平成28年9月に行われた第17回東北大学バスケットボールリーグ2部北奥羽トーナメント(以下、2部北奥羽トーナメント)を4年ぶりに制覇。準決勝では昨年の2部北奥羽トーナメントで敗れた八戸学院大と再び対戦し雪辱を果たし、決勝では青森大と対戦し93-86で優勝を決め、入れ替え戦の出場権を獲得しました。

- 所属人数:28人
- 活動日時:月曜日...16:00~21:00  
火曜日...18:30~21:00  
木曜日...16:00~18:30  
土曜日...14:00~17:00  
日曜日...13:00~16:00
- 活動場所:大体育館

### 学長を表敬訪問

10月12日には山本文雄学長を表敬訪問し、2部北奥羽トーナメントの結果を報告しました。菅原悠主将(理工学部3年次)は、優勝の要因として、練習時間の大半をディフェンスに当てたことや、オフェンスは各部員が自主練

習で高めたことにより選手層が厚くなったことなどを挙げ、それに対して山本学長は、自身も中学から大学までバスケットボールに打ち込んできたことや、大学時代には医科学生で全国大会で優勝したエピソードなどを語り、「これまでの練習の成果を発揮してもらい、ぜひ1部昇格してほしい」と激励しました。

### 初の1部昇格を目指して

平成12年にリーグが2部制になってから、秋田大学としては初となる1部昇格を目指し10月の入れ替え戦に臨み、善戦したものの昇格には及びませんでした。菅原主将は「1部昇格までもう一步のところだった。また入れ替え戦に臨めるように気を引き締め、チーム一丸となって練習に励んでいきたい」と話しました。

取材:秋田大学広報課



表敬訪問



試合の様子

アーバンマイン

## 都市鉱山から生まれる新たな資源を開発し地域再生を支援する 「あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース」

## 第5期生 募集

秋田県における環境・リサイクル産業を推進し、環境教育などに貢献できる人材の養成を目的とした学校教育法に基づく秋田大学の履修証明プログラムです。

環境・リサイクルに関する講義から、県内及び国内外の社会・経済情勢まで、その分野の専門家による講義(毎月2回、土曜日)を受けることができます。また、秋田県内における環境・リサイクル産業に関わる現況や課題を理解するため、県内のリサイクル関連企業や施設を見学するフィールド研修(6、9、10月の3回、平日を予定)を実施し、担当教員の指導のもとに課題研究を行います。

修了者に対しては、教育プログラムの修了を認める「履修証明書」を交付し、併せて秋田大学長と秋田県知事の連名による「アーバンマイン開発マイスター」の称号を授与します。

- 【募集期間】平成29年1月10日(火)~2月8日(水)
- 【募集人員】10名程度
- 【受講料】30,000円(秋田大学の学生は無料)
- 【書類選考】平成29年2月中旬
- 【合格発表】平成29年3月6日(月)

【お問い合わせ・資料請求先】

- あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース事務局(大学院理工学研究科事務部内)
- TEL: 018-889-2451 / FAX: 018-889-2300
- E-mail: urban@jimu.akita-u.ac.jp



平成28年度フィールド研修の様子

# リレーエッセイ 第2回

## 秋田大学に期待すること

秋田大学経営協議会学外委員の皆さんから秋田大学に対するメッセージを寄せていただいております。

秋田魁新報社代表取締役社長

小笠原 直樹



「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ」

歌人・俵万智さんが詠んだこの一首のようなおうむ返しならほっとするが、状況について「大変ですね」と話しかけられて「大変ですよ」と答えるのは癪に障るから、「楽ではないですね」とやせ我慢してみたりする。忙しいうちが花とは言うものの、企業経営というのはどうにも難しい。学生の頃はよかつたなと思ってしまうが、いやいや現代の学生は相当大変だ。

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ」

「鬱」は草木がこんもりと生い茂った状態を表した字で、転じて物事が盛んな様子を指している。「鬱然たる原始林」「鬱蒼とした

森「雲が鬱勃と湧く」などと使うが、盛んなエネルギーのはけ口のない状態が「うつ」なのだと言った。戦後七十年余りが経過し、営々と築き上げてきた社会のシステムがきしみがたつている。経済格差がどんどん広がり、中間層が減っていく。そればかりでなく、子どもの頃から将来に希望を持てる人間と、そうでない人間との希望格差も拡大している。

向けて、プラスに転じさせるべきだろう。何もせずに沈んでいくよりは、失敗してもいいから挑戦すること。学生時代は恐れずひるまず、さまざまなことにチャレンジしてみようか。

動きのないところに、善くも悪くも波風は立たない。東京した折、学生時代に訪れたことのある柴又帝釈天に足を運んだ。境内には尾崎士郎の「人生劇場青春立志の碑」がまだあった。そこに刻まれた言葉は「死生あり。くよくよすることはない。よくよく始まり、運命の神様はとさきどき妙な、いたずらをす

る。しかし、そこで、くじけるな。くじけたら最後だ。堂々とゆけ。よしんば、中道にして倒れたところで、いいではないか」と続く。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

秋田大学は秋田県唯一の国立大学。学生も教員も世界に視野を広げつつ地域に溶け込み、地域というステージを大いに活用して華麗に舞い、歌ってみたいだろうか。再び秋田が輝き、躍動し始めるのではないだろうか。

### 東京サテライトをご利用ください。

首都圏における秋田大学の活動拠点として多方面に関わる業務を行っており、各種相談窓口として皆さんをサポートします。



●**企業の方**  
常設のテレビ会議システムを活用し、東京に居ながらして秋田大学との打ち合わせや学生への就職説明会等を行うことができます。求人票も随時受け付けています。

●**秋田大学の学生**  
就職説明会や採用面接等で東京へ行った際、休憩場所として利用するなどの時間を有効に使うことができます。

●**秋田大学の教職員**  
東京での打ち合わせや出張時の利用のほか、講演会・セミナー等の開催も可能で、CIC内の50〜100人程度収容できる多目的室(有料)や無料の会議スペースも利用できます。

●**受験生をはじめ一般の方**  
秋田大学に関する様々な情報を提供しており、必要に応じて大学の担当部署に直接問い合わせることも可能です。

大学案内、各学部の案内など各種パンフレットのほか、入学者選抜要項や学生募集要項なども手に入れることができます。

- 【秋田大学 東京サテライト】**
- 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター606号室
  - ☎03-5440-9104
  - 開所時間/10:00~17:00 (東工大CICは8:30~19:00)
  - E-mail:tokyo@jim.u.akita-u.ac.jp

※利用には事前連絡・予約が必要です。

### 秋田県厚生農業協同組合連合会

能代厚生医療センター、かづの厚生病院、湖東厚生病院、北秋田市民病院(指定管理者)、秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター、由利組合総合病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院

JA秋田厚生連 検索

### 丁酉会

秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に

## 一般財団法人 丁酉会

# 保険調剤 丁酉会薬局

てい ゆ う かい

秋田大学病院前

## 秋田大学生協は秋田大学生を応援します

秋田大学の大学生活を日常的にサポートするのが大学生協です！

学生組合員のみなさんケガや病気をして共済の「給付申請忘れ」ありませんか？

冬はスポーツでのケガや病気も多いです。サポートセンター・本部・コープルにご相談ください。

学生総合共済は、ケガや病気など万が一の時に保障してくれる制度です！

学生総合共済マスコットキャラクター「タヌロー」

お問い合わせ ☎0120-327-141



# 先輩なう。

秋田大学卒業生の今(=なう)をご紹介します。



PROFILE

## 今村 圭太さん

新日鐵住金株式会社  
技術職(操業管理)

◆大学院工学資源学研究所  
環境物質工学専攻  
2010年3月修了



PROFILE

## 島田 沙希さん

国際石油開発帝石株式会社  
グローバルスタッフ技術(地質)

◆大学院工学資源学研究所  
地球資源学専攻  
2014年3月修了

### 今の仕事内容、やりがいを教えてください。

私は鉄鋼業の最初の工程である鉄を溶かす製鉄部に属し、高炉で使用するコークス(石炭を乾留し、炭素割合を増加した熱源および還元材)の製造に携わっています。コークス工程で製造される製品は、コークスとコークス炉ガス(以下COG)の2つです。コークスは高炉内で通気性確保のスペーサに、また酸化鉄から還元鉄への還元材となり、COGは製鉄所全体のエネルギー源となります。現在、コークス製造を通じて、約2万トン/日規模の銑鉄を製造する鹿島製鉄所の安定操業に貢献しています。



今の仕事のやりがいは、前述したように大規模な生産を支える中で自分のアイデア一つで数億円規模のコスト改善を実現できることです。また、「社会のインフラを支える=社会貢献」に日々関わることによって意義を感じています。

### 今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

在学中に授業の一環として取り組んだ学生実験を通じて化学の様々な分野に触れる中、無機化学の金属製錬に興味を持ち、金属の中で多種多様に变化する鉄に関心を持ちました。我が国において元来鉄は「鐵」という字であり、「鐵は金(属)の王(様)哉」という言葉があるように人類文明の象徴、国家の基幹産業とされています。私は国を支える金属である鉄を製造する仕事という点にやりがいと魅力を感じました。

### 環境物質工学を専攻した理由を教えてください。

元々高校時代は化学、特に無機化学に興味がありました。一方で秋田大学は設立当初から鉱山学部を有する金属の学び舎でした。そのため、秋田大学で無機化学を勉強しようと最初はだまかに考えて学科を選択したのが約12年前でした。その後、研究室において柴山敦教授、高崎康志准教授、大友崇穂名誉教授の丁寧なご指導により金属製錬の研究に従事し、「もっと専門的な学問を修めたい」と研究に魅力を感じ大学院も同じ専攻を選びました。



### 秋田大学での学びが、現在どのように活かされていますか。

鉄鋼の製鉄に関わる熱収支計算、流体力学などの基礎知識や研究で培った金属特性の判断、各種分析方法などは現在の業務でも役立っています。また、鉄・非鉄共に国内の資源は経済性の観点から採掘は乏しく海外に依存している中で、資源に対する危機意識、グローバルな角度から会社の状況を理解する上で非常に活かされています。

### 後輩にメッセージをお願いします。

大学生活でぜひ意識していただきたいのは、「入学して卒業するまでに何か誇れるものを己の中で見つけよう」ということです。部活動・サークル、アルバイト、資格取得など何でも己の価値を高めることを目的にOUTPUTを意識して計画・実行してみましょう。自分の価値を決めるのは自分です。大学生活が自分の価値を高める時間となるように考えてみてください。興味・関心を持ち、思い切ってチャレンジしてみることは無駄なことではありませんし、いつかどこかでその経験が役に立ちます。今しかできないことを考えて有意義な学生生活を送りましょう!

### 今の仕事内容、やりがいを教えてください。

私は、過去に油田として生産実績のある国内のフィールドで当時の技術では生産できなかった原油を如何にして回収するかを調査するプロジェクトに携わっています。その中で、貯留岩となる砂岩や原油がどのように分布し、どの程度の埋蔵量があるのかということ再評価しています。半年ほど前には、このフィールドで新しいデータを取得することを目的とした坑井が掘削され(掘削計画の策定には地質担当として携わり、現場でも主担当をさせていただきました)、現在はこの坑井で得られたデータを用いて評価作業を行っています。いずれの仕事も難しく、自分の検討した通りにならないこともありますが、その分、周囲の方々に検討内容を納得してもらおうと非常に嬉しいです。まだ入社3年目ですが、日々、非常に責任のある仕事をさせてもらっています。なお、現場勤務時、弊社の掘削イメージムービーに出演させていただきました(笑)



### 今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

最初は、先生方からエネルギー開発業界の話聞き興味を持ちました。これがキッカケとなり、学内で行われる会社説明会等に参加し、企業の方からお話を伺う中で、自分の勉強したことが生かせるほか、様々な場所で働いたり色々な方と接したりできることに魅力を感じ、私もこの業界で働きたいと思うようになりました。

### 地球資源学を専攻した理由を教えてください。

小学生の頃から地学が面白いと思っていました。生まれも育ちも秋田県である私は地元で地学を学べる大学があることを知り、ここで勉強したいと思いました。

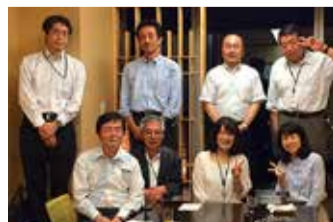


### 秋田大学での学びが、現在どのように活かされていますか。

大学で勉強・研究してきた内容そのものが現在の仕事に活かされていると思います。また、進級論文、卒論、修論の野外調査時に培った観察する力は仕事でも大きな自信となっています。他には、お酒の席など親睦を深める場での幹事能力も発揮できているのではないのでしょうか。

### 後輩にメッセージをお願いします。

自分にたっぷり時間をかけられるのはまさに今だと思います。勉強や研究はもちろんですが、趣味や旅行でも何でも、自分の強みを見つけられるようなことをしてほしいです。また、多くの人と接して、刺激を受けることも大切ではないでしょうか。



繰り返になりますが、様々な機会を積極的に作り、色々なことを経験して、自分の強みを探してみてください。そして、それを芯に今後頑張ってください。この業界に興味を持っている方へ、いつか一緒にお仕事ができることを楽しみにしています。

# NEWS & TOPICS

## ニュース&トピックス

2016.09. >>>2016.12.

### 卒業生で冒険家の阿部雅龍氏企画展

インフォメーションセンターで、8月29日から9月30日の期間、企画展「卒業生・阿部雅龍氏南極点単独徒歩到達に向けて」グリーンランド北極圏750km単独徒歩行の報告」を開催しました。

秋田大学の卒業生で冒険家の阿部雅龍さんが平成28年3月から5月の約3カ月にわたり行ったグリーンランド北極圏単独徒歩行の記録を、自身のSNSに発信した文章と写真などで紹介。

阿部さんは当初1200kmを歩く計画のもと冒険を開始。スキーを履き装備を積んだ計150kgのそりを引いて徒歩行を進めましたが、出発から22日目、高い気温のため足元の氷が割れて海に落ちるアクシデントに見舞われました。体温が奪われ手足の感覚が徐々になくなっていく中、悪戦苦闘して海水上にはい上がりましたが、装備を失い、翌日救助が到着するまでの間テントなしで一晩を過ご



ストレッチの様子

9月1日、東成瀬村保健センターで「コグニサイズ教室」開講式を開催しました。秋田大学と同村が共催し、住民の健康づくりを目的にスタートさせるものです。「コグニサイズ」とは国立長寿医療研究センターが考案した運動法で、コグニション(認知機能)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語です。例えば、「歩きながら計算する」といった「有酸素運動+頭を使う作業」の組み合わせで、認知症予防の

### 東成瀬村「コグニサイズ教室」開講式を開催

SEPTEMBER

効果が期待できる運動のことです。

健康チェックの後、開講式では「認知症とコグニサイズについて」の説明、身体機能測定、iPadを使用した「脳トレ」、コグニサイズ初級編を行いました。

参加者たちは体をほぐすストレッチの後、さっ



健康チェックの様子

そく「コグニサイズ」に初挑戦。椅子に座ってステップを踏みながら、しりとりをする運動など、それぞれがゲーム感覚で楽しみながらも真剣に取り組んでいました。終始和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、笑い声が絶えない「初体験」になりました。

### OCTOBER

### 第2回ホームカミングデーを開催

10月15日、秋田大学の卒業生を対象に「第2回秋田大学ホームカミングデー」を開催しました。

このイベントは秋田大学全学同窓会及び各学部同窓会の協力のもと実施され、これまで学部単位で実施されていたものを平成27年度に全学的な取り組みとして開催し、今回で2回目となります。



阿部さんから在学生らにメッセージが贈られた



展示に見入る来館者

全体会・記念講演会では、はじめに山本文雄学長の挨拶と、同窓会を代表して秋田大学全学同窓会兼医学部保健学科同窓会「本道さくら」の坂本健将会長が挨拶。

続いて、山本文雄学長が「秋田大学の年間活動」と題して記念講演し、秋田大学の取り組みや今後の展望などについて話しました。

手形・本道キャンパスを巡るキャンパスツアーでは、学内の施設見学や、特徴的な取り組みの見学・体験が行われ、交流会では、山本文雄学長をはじめ役員・教職員も参加し、参加者との歓談、情報交換が行われました。

しました。ヘリコプターで運ばれ、手当てを受け療養した後、約1週間後に予定ルートなど計画を変更し徒歩行を再開。5月下旬に750kmほどを踏破したところで冒険を終えました。

企画展は地元紙をはじめ複数の報道機関にも紹介され、広く秋田県内外から多数の人が訪れました。また、開

催期間中には阿部さん本人が来館し、冒険を振り返るとともに、次の冒険への意気込みを語ってくれました。

阿部さんは最終目標として、平成29年冬に約1000年前に日本人で初めて南極を探検した白瀬矗(しらせのぶ)、秋田県出身の足跡をたどり、徒歩で南極点に到達する冒険を計画しています。



同窓会を代表し挨拶する秋田大学全学同窓会の坂本会長



キャンパスツアーで自転車シミュレーターを体験する参加者

### 秋田大学みらい創造基金 「修学支援事業寄附金」の設立について

秋田大学みらい創造基金では、特定基金に新たに「修学支援事業寄附金」を設立しました。この「修学支援事業寄附金」は、経済的な理由で修学に困難がある学生等への支援を行うことを目的としております。

#### 【支援事業】

- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| 1. 授業料等減免事業 | 3. 留学支援事業                    |
| 2. 奨学金事業    | 4. ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント事業 |

#### 【税制上の優遇措置】

平成28年の税制改正により、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」が導入されました。今回設立した「修学支援事業寄附金」は、税額控除の対象となります。

この税額控除は、従前の所得控除に比較して、多くの方にとって減税効果が大きくなっております。

(控除を受けるには、確定申告の手続きが必要です。)

〈お問い合わせ〉

秋田大学みらい創造基金事務局(総務企画課内)  
☎018-889-3266 メールkikin@jimu.akita-u.ac.jp

### 第1回 秋田大学みらい創造基金 感謝の集い

秋田大学みらい創造基金では10月15日(土)、「第1回秋田大学みらい創造基金感謝の集い」を開催しました。

みらい創造基金へ  
ご支援を頂いた皆様へ、  
心より御礼申し上げます。

世界中の人々の「健康でありたい」という願いに応じてニプロは、求められる製品・技術を開発し、提供し続けます。



信頼の医療機器・医薬品

ニプロ株式会社 大館工場  
〒018-5794 秋田県大館市二井田字羽貫谷地8番地7  
TEL : 0186-49-5111 FAX : 0186-49-3944  
URL http://www.nipro.co.jp/

NOVEMBER

教職大学院発足記念フォーラム

11月11日、60周年記念ホールで、秋田大学教職大学院発足記念フォーラム「秋田における教育実践知の継承と創造」を開催しました。

秋田大学では、平成28年4月に教職大学院がスタートし、10名の現職教員院生、12名の学部卒院生が学んでいます。このフォーラムでは、本学の大学院生や学部生、教職員

基調講演では文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室の福島史室長補佐が、「教員養成 研修をめぐる国の政策動向」と題して講演。「新任教員が増えており、初任者研修の受講者が10年間で15倍に増えている。半面、教員を始めて15年前後の中堅が少なくなっている」と教員の年齢層に偏りが生じている現状を紹介。「次世代の学校・地域を創生するためには、教員養成改革が重要となってくる。教職大学院が中心となり改革が推進されていくことを期待している」と話しました。

また、「教職大学院の取り組み」として、実践授業による研究会や、岩手大学教職大学院との交流など、院生がこれまで取り組んだ事例を紹介したほか、フォーラム当日に教育関係者向けに授業の公開も行いました。

”県民の命を守る”秋田大学医療フォーラム「脳卒中を乗り越えて」

11月19日、脳血管疾患をテーマとした”県民の命を守る”秋田大学医療フォーラム「脳卒中を乗り越えて」を開催しました。今回のフォーラムは、専門医らの講演やパネルトークを通して、脳卒中をはじめとする脳血管疾患への理解を深め、発症が生死に関わるケースも多いことから迅速な治療や日頃からの予防の重要性を学ぶことを目的に開催され、一般市民ら約300人が参加しました。

山本文雄学長の開会挨拶

その後、伊藤宏医学部長の進行により、医学部附属病院脳神経外科の清水宏明教授が「脳神経外科の立場から」、循環器内科の渡邊博之准教授が「心原性脳梗塞について」、またリハビリテーション科の松永俊樹准教授が「リハビリテーション科の立場から」と題しそれぞれの疾病の機序や特徴や迅速な治療、予防などについて講演しました。また、医学部保健学科の中村順子教授が「訪問看護の立場から」として、在宅看護による社会復帰に向けた取り組みなどについて講演を行いました。さらに、堀井啓二秋田県副知事が長らく県民病とも言われてきた脳卒中に関する同県の現状について説明し、県を挙げての取り組みを紹介しました。

講演後の舞台上には、ゲストで漫才コンビの宮川大助・花子さんが登場。大助さんは平成



パネルトークの様子  
(左から伊藤医学部長、宮川大助さん、宮川花子さん)



医学部附属病院で最新の手術機材の説明を受ける宮川大助花子さん

19年に軽度の脳出血で倒れ、その後舞台への復帰を果たしており、発症から今日までの道のりを笑いを交えて披露しました。また、専門医とのパネルトークでは、来場者から事前に受け付けた質問に答える形で、自らの経験や家族の支えの大切さなどを語りました。

大助・花子さんは、フォーラム前日に医学部附属病院とシミュレーション教育センターを訪問し、最新の治療とリハビリの現場を見学しました。

DECEMBER

イルミネーションを点灯

平成28年12月5日から街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけでなく地域住民の方々にも親しんでもらえるよう、秋田大学手形キャンパスでイルミネーションを点灯しました。

平成28年度はLED電球を昨年度の約15000個から約25000個に増量



手形キャンパスのイルミネーション

し、冬の夜をより華やかに明るく照らす光のオブジェとなりました。

また、平成28年12月1日から本道キャンパスにある医学部附属病院でも、来院する患者さんや入院患者さんを始め、患者さんのご家族や地域住民の方々にも親しんでもらえるようイルミネーションを点灯しました。

「勉強ですかね」酒席の流れで趣味を問い、返ってきた言葉に戸惑った。言葉の主は平然。こやかだけど真顔だ。今号で学長との対談記事が掲載されている、日産自動車の志賀俊之副会長。ビジネスの最前線に身を置く「忙し人」(いそがしびと)の知的好奇心は、経験と齢を重ねるごとに増している様子だ。

各地を訪ね、様々な人と出会う。愉快なことばかりではないはずだが、多角的な刺激が好奇心の扉を開く。歴史、文化、先端技術、政治…。多岐にわたるテーマでも、人の世界の出来事。必ず共通する軸はある。そして、専門であるビジネスの視点でも考えてみる。私にはよく分からないが、「研究者の世界」の本質も多分、そういうものなのだろう。

専門性もなければ、教養も身につけないままの卒業。そんな学生は、まるで通用しない。と、志賀さんは言った。厳しいが、企業側も必死なのだ。

就職活動も話題になった。職種にこだわることが就職だとすれば、憧れの会社への入社を目指すことは就職活動。この場合は専門家(候補生)として入社するわけではないので、会社の事情で経理を担当したり、人事や営業を担当したりすることもある。時には異業種ともいえる配属先でもプロの仕事が求められるため、柔軟な教養が不可欠となる。

とにかく秋田(地元)に残(帰)りたいと願っている学生もいる。これは「就地」とでも呼ぶのだろうか。自分が何を大切にす

Column 文章力up



るかを考えるのが起点だ。では、エントリーシートにはどんな要素を書き込めばいいのだろうか。

【就職】例えば教員志望出身身の採用試験で合格できなかったら、他県にも挑戦する。これが就職。エントリーシートでは、当然ながらその職に対する思いを書き込んでいく。教育実習で感じたことなども、職への思いを構成する大切な場面になる。

【就社】なぜ、数ある企業の中から選んだのか。その会社に対する自分自身の「評価」は押さえておきたい。そして、複数の役割をこなしているタフさをどう伝えるか。やはり、エントリーシートには場面を書き、好奇心と柔軟さを、読む(採用)側に想像させるようにしたい。例えばアルバイト。マニュアルになかった事例をどう乗り越えたか。そんな記述を、採る側は学生を知る貴重な手がかりにする。

【就地】高齢化が進む中では、地元定着だけでもある種の貢献かもしれないが、その土地へのこだわりは、どこにあるのだろうか。就地活動の前に何度も、意味を考えてみよう。憧れていた会社の名刺を持ち、好きな勤務地で、得意な仕事。希望がすべてかなう人は少ない。優先順位は、齢を重ねて変わることもある。

長い冬。ちよつと考える時間はある。

秋田大学副理事 国際担当  
(元朝日新聞記者)  
高橋 康弘

# イベント&講座・講習会

# Event, Seminar, Workshops & Extension course

## 催し物

### 平成28年度 秋大音楽の広場 ～コンサート&ワークショップ～

- 【第2回】憩いのコンサート  
～ヴァイオリンとピアノの調べ～
- 1月 8日(日)14:00～15:00
- 【第3回】教員と学生によるコンサート
- 2月19日(日)14:00～15:00
- 【第4回】指揮者の音楽解釈法ワークショップ  
～昔ながらの教科書の歌をみんなで歌う音楽会～
- 3月19日(日)14:00～15:00
- 教育文化学部2号館1階音楽演奏室
- 対象/どなたでも(先着30名様)
- 参加費/無料
- ☎018-889-2566(教育文化学部 准教授 為我井 寿一)

### 教育文化学部天文台イベント

- 天文サイエンスカフェや大学教職員による天文講演会、45cm反射望遠鏡を使った夜間天体観望会を実施します。
- 2月 4日(土)16:00～18:30
  - 3月 4日(土)16:30～19:00
  - 4月 1日(土)17:00～19:30
  - 教育文化学部3号館3階301地学実験室ほか
  - 対象/どなたでも  
(夜間観望会は中学生以下、保護者同伴)
  - 参加費/夜間観望会は保険料1人50円
  - ☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)

### 国際資源学教育研究センター(ICREMER)主催 第11回 国際シンポジウム 「資源学の最新の取り組み」

- 南アフリカ、北米、オーストラリアの大学研究者等による講演及びICREMERの取り組みを紹介します。
- (秋田会場)
  - 2月14日(火)10:00～17:00
  - 地方創生センター2号館
  - (東京会場)
  - 2月16日(木)13:00～17:00
  - 国際協力機構JICA市ヶ谷ビル国際会議場  
(東京都新宿区市谷本村町10-5)
  - 対象/どなたでも
  - 参加費/無料
  - ☎018-889-2810(国際資源学教育研究センター)

## 公開講座

### 北イングランドの文化Ⅲ ～映画「リトル・ダンサー」詳解

- 英国映画「リトル・ダンサー」について、イングランド北東部の特色や時代背景を捉えながら解説します。
- 2月 1日(水) 18:15～19:45
  - 2月 8日(水) 18:15～19:45
  - 2月15日(水) 18:15～19:45
  - 2月22日(水) 18:15～19:45
  - 3月 1日(水) 18:15～19:55
  - 手形キャンパス
  - 対象/どなたでも(要事前申し込み、1月18日(水)締切)
  - 受講料/2,500円
  - ☎018-889-2270(地方創生・研究推進課)

### 秋田大学ジョブ・フェア (企業合同説明会)

- 平成30年3月卒業・修了予定者の就職支援の一環として、学生と秋田県内外の企業約300社とのマッチングの機会として開催します。
- 3月13日(月)、14日(火)9:10～16:50
  - 秋田ビューホテル(秋田市中通2-6-1)
  - 参加費/無料
  - ☎018-889-2262(就職推進課)

### がんの痛みの治療教室

- 第7回「がんによる気持ちのつらさ(精神科医師編)」  
緩和ケアチームの精神科医師が、がん治療に関わる精神的症状やがん患者さんが抱える不安や気分の落ち込み、がん患者家族が抱える不安などについてお話しします。
- 3月14日(火)14:00～15:00
  - 医学部附属病院 院内図書室「ひだまり」
  - 対象/どなたでも
  - 受講料/無料
  - ☎018-884-6039(医事課医療サービス室)

## 平成29年度秋田大学 一般入試日程

平成29年度一般入試(前期日程、後期日程)を以下の日程で実施します。  
詳細は、秋田大学公式ホームページ「入試情報」をご覧ください。

- 出願期間(前期日程、後期日程)/平成29年1月23日(月)～2月1日(水)【必着】
- 試験日/(前期日程)平成29年2月25日(土)、26日(日)(26日は医学部医学科のみ実施)  
(後期日程)平成29年3月12日(日)
- ☎018-889-2256(入試課)

### 平成28年度 秋田大学卒業式

- 3月22日(水)10:30～
- 秋田県民会館(秋田市千秋明徳町2-52)
- ☎018-889-2207(総務企画課)

### 平成29年度 秋田大学入学式

- 4月6日(木)10:30～
- 秋田県民会館(秋田市千秋明徳町2-52)
- ☎018-889-2207(総務企画課)

# 秋田大学みらい創造基金 ご協力をお願い申し上げます。

秋田大学は、多くの皆様からご協力いただいた「秋田大学教育研究支援基金」を引き継ぎ、平成26年11月に「秋田大学みらい創造基金」を創設いたしました。

この基金は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

〈ご寄附のお願い〉 ●個人の方：-□ 1,000円  
●法人の方：-□ 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数回のご協力を願います。また、継続的なご寄附もお待ちしております。寄附者様のご都合に合わせた寄附方法・金額の設定が可能ですので、詳細は基金事務局へお問い合わせください。

### 〈ご寄附の方法〉

- 振込によるご寄附 ●クレジットカードによるご寄附
- 古本募金によるご寄附 ●遺贈によるご寄附

寄附のお申し込み、詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧ください。また、基金事務局までお問い合わせください。

〈寄附者ご芳名〉この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 企業・団体等

- 秋田県国際交流をすすめる女性の会 様
- 秋田大学有志一同 様
- 医療法人社団うえはら耳鼻咽喉科クリニック 様
- ニプロ株式会社 様

### 個人

- |          |          |           |           |           |           |          |         |
|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|
| ●会場 一幸 様 | ●大谷 育子 様 | ●工藤 絹子 様  | ●斎藤 明 様   | ●佐藤 麻衣 様  | ●高橋 省子 様  | ●本多 勝成 様 | ●山方 遥 様 |
| ●相原 淳 様  | ●大場 重夫 様 | ●國吉 幸男 様  | ●嵯峨 英美 様  | ●嶋崎 裕子 様  | ●田川 幸雄 様  | ●升田 鉄三 様 |         |
| ●阿部 圭但 様 | ●大庭 珠枝 様 | ●熊谷 尚 様   | ●佐川 喜一 様  | ●白畑 展子 様  | ●田口 睦子 様  | ●松本 敏江 様 |         |
| ●泉 薫 様   | ●大森 泰文 様 | ●栗田 寿 様   | ●櫻田 佳枝 様  | ●菅野 宣衛 様  | ●戸澤 睦子 様  | ●三浦 里子 様 |         |
| ●市川 逸郎 様 | ●小野寺 清 様 | ●小島 聖史 様  | ●佐藤 愛子 様  | ●菅原 孝悦 様  | ●中村 知江子 様 | ●三浦 大介 様 |         |
| ●伊藤 慶郎 様 | ●鎌田 利臣 様 | ●小玉 リツ子 様 | ●佐藤 阿貴子 様 | ●菅生 由香子 様 | ●福田 佳子 様  | ●宮口 修一 様 |         |
| ●内海 豊 様  | ●菊地 彩子 様 | ●小林 葉子 様  | ●佐藤 菜穂子 様 | ●高橋 志津子 様 | ●堀井 綾子 様  | ●柳田 栄基 様 |         |

他 匿名希望 38名様(延べ数) (平成28年9～10月末入金分 五十音順)

### 一般基金

教育の質の向上及び研究の推進支援  
1 横断的な教育・研究プロジェクトへの支援、次世代の研究を担う研究者の学際的・国際的な活動への支援、男女共同参画への支援等を行います。

卒業生・産業界等との連携支援  
4 ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。秋田大学の教育研究環境を活用し、多くの企業と共同で行う活動を支援します。

学生への奨学金等支援  
2 学生、留学生への経済的支援、学生・団体への課外活動支援、教育文化学部附属学校園の活動支援を行います。

学部等への支援  
5 学部・大学院等の教育研究の充実のため、機器、学術図書・雑誌等の充実・整備を図ります。

教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援  
3 秋田大学が持つ人的・物的資源を活用し、国際社会・地域社会で多様な形で行われる活動を支援します。

施設・環境整備の充実  
6 教育研究環境をより発展的なものとするため、校舎や図書館、グラウンドなどの改修や整備を行い、キャンパス環境を充実させます。

### 特定基金

- ★ 病院寄附金
  - ★ 教育文化学部寄附金
  - ★ 理工学部寄附金
  - ★ 修学支援事業寄附金(※)
  - ★ 国際資源学部寄附金
  - ★ 医学部寄附金
  - ★ 附属学校園寄附金
- ※新たに設立されました。詳細は10ページ下欄をご覧ください。

### 〈お申し込み・お問い合わせ先〉

秋田大学みらい創造基金事務局  
〒010-8502  
秋田市手形学園町1番1号  
☎018-889-3266(総務企画課内)  
kikin@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学みらい創造基金は秋田大学公式ホームページからお申し込みいただけます。  
([http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/index.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html))

秋田大学 みらい 検索